



きれいな学校 輝く笑顔 ～J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)～

# 大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関 2 8 2

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

## マニュアル社会を考える ～自分で決めて自分で責任を取ること！～

校長 澤田純一

暑い日が続きますが、皆さんの元気な姿に励まされ毎日を過ごすことができます。ありがとうございます。互いに健康に留意しながら夏を乗り越えましょう。

さて、6月17日に大規模災害避難訓練を実施しました。これは、さいたま市が大震災に見舞われた時、より安全に避難するとともに皆さんの命を守ることを目的として行っています。本校では引渡し、集団下校、神田小に合流後引渡しの3パターンで訓練に取り組みました。ここで当日の振り返りをしてみましょう。校内放送で地震の揺れが伝えられます。次に先生の指示で机の下に隠れます。そして、揺れがおさまったことの放送が入り校庭に避難します。その後、それぞれのパターンで帰宅します。これが、行動マニュアルです。

平成23年3月11日に、東日本大震災が起きました。その時、私はある中学校で教頭をしていました。突然の激震に、マニュアル通り放送を入れようとしたのですが電気が断絶され放送を入れることができません。すなわち、生徒に地震が起きたこと、机の下に隠れること、避難を開始することの指示ができなかったのです。そこで、皆さんに覚えておいて欲しいことがあります。それは、万が一の時、マニュアル通りいかないことがあるということです。例えば、地震でも放送が入るとは限らない。休み時間で先生がいるとは限らない。下校中であるかもしれない。加えて、交通機関が麻痺し、保護者が仕事場から帰宅できないことがある等です。日頃からマニュアルがないと行動できないことが習慣になってしまうと、いざという時に最良の行動がとれない可能性があります。

こんなエピソードがあります。あるハンバーガーショップに行って「ハンバーガー20個」と注文しました、すると「こちらで、お召し上がりですか？お持ち帰りですか？」と店員さんがマニュアル通りに聞いてきたそうです。（ハンバーガー20個を、ここで食べられるわけがないのに！）店員さんはマニュアル通りに行動したのだと思いますが、もう少し臨機応変に対応することはできないものかと考えさせられました。

大震災が起きなければよいのですが、こればかりは予測できません。私には、社会人、大学生、高校生、中学生と4人の子どもがいますが、次のような話をしました。「もし、大震災が起きたら、私は、学校を守らなくてはいけない。そのため、すぐに帰宅できない。自分の命は自分で守りなさい。そして、お前たちも、交通機関が止まって帰宅できないかもしれない。しかし、何日かかっても良いから戻ってきなさい。共に生き延びて、この家で再会しよう。」と。容易な事ではありませんが、このサバイバルを生き抜くためには、自分で判断し行動しなくてはならないことがある、ということです。もちろん私は校長として皆さんの命を最優先に守ります。しかし、皆さんにもマニュアルがなくても考えて行動できる人になって欲しいと思います。それでは、すてきな夏休みを過ごしてください。

～今学期、皆さんはよく頑張りました。校長からの通知表は「5」です！2学期も元気な姿を見せてください。～